

工学部研究資料館の保守管理および公開について

－国指定重要文化財の保守管理と開放業務－

○中村秀二、神之田信幸、倉田 大、白川武敏、清水久雄、平田正昭、廣田将輝、稲尾大介
機器製作技術系

1 はじめに

工学部研究資料館の建物と館内に展示されている工作機械 11 台は、平成 6 年に国指定重要文化財の指定を受けた。本館は、熊本高等工業学校の機械実験工場として明治 41 年に設置され現在に至っている。本館の西側にはボイラー室、蒸気機関室を設け、機械実験室に動力を供給し全ての工作機械を動かす構造になっていたが、現在は撤去され電動機による駆動を行なっている。また現存する建築物としての実用性と装飾的要素を備えた美しさがあり、全国でも数少ない大変貴重な近代的建物である。また、平成 19 年には機械学会より、工学部研究資料館および重要文化財工作機械（11 台）に新たに 2 台の工作機械を加えたものが機械遺産として認定された。

2 工学部研究資料館工作機械群の機械遺産認定について

2.1 機械遺産とは

機械遺産は 2007 年 6 月に日本機械学会創立 110 周年記念事業により設けられた制度であり、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本の機械技術発展において強い影響を与えた機械・機器・機械関連システム・施設・設計仕様書・教科書などを対象に与えられる。また、所有などの継続ができなくなった場合に、処分や散逸を防ぐために他機関などへの移管の仲介などを行い、認定機械を保存する制度である。

2.2 工学部研究資料館の歴史 - 機械遺産認定まで -

明治 30 年(1887)に設置された第五高等学校工学部より熊本高等工業学校が明治 39 年(1906)に独立し、明治 41 年(1908)12 月熊本高等工業学校機械実験工場として竣工された。その後、施設は熊本大学に引き継がれ、新しい実習工場（中央工場）ができる昭和 47 年(1972)までの約 60 年間、実験工場として研究支援や学生指導などに用いられてきた。



昭和 52 年(1977)に熊本大学工学部 80 周年記念事業で、工学部研究資料館として創設され、平成 6 年に建物と工作機械群 11 台が重要文化財として指定された。平成 9 年(1997)、熊本大学工学部 100 周年記念事業の一環として、これまで稼動していた 3 台の機械以外 8 台の動態保存化を進め、平成 11 年(1999)国指定重要文化財工作機械 11 台全てが動態保存となった。平成 18 年(2007)日本機械学会より、工学部研究資料館および館内工作機械群 13 台(重要文化財 11 台含む)が機械遺産に認定される。

2.3 今後の工学部研究資料館の役割

工学部研究資料館の役割としては、機械遺産の認定条件にもあるように「歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えること」を使命とし、多くの人達に工作機械の歴史および本学の歴史を伝えていくことが肝要と考える。また、工学部研究資料館には他大学をはじめとする研究機関等および国内外より多くの来館者がある。07年度に機会遺産の認定により、新聞やテレビなどのメディアに取り上げられたこともあり、年間約 2,000 名の来館者がある。また、秋には資料館の建物(空間)を活かした音楽コンサートを開催し、工学部の恒例行事にもなりつつある。このように研究資料館の役目は大学教育だけではなく、様々な分野に関しても活用し、貢献できるのではないかと思われる。表 1 には昨年度の工学部研究資料館の公開および来館者数を示す。

表 1 工学部研究資料館(重要文化財工作機械)の公開および来館者数

公開日	行事内容	来館者数(名)
平成 22 年 4 月 8 日	S41 卒業生	8
平成 22 年 4 月 23 日	精密機械学会	28
平成 22 年 5 月 13 日	S35 卒業生	32
平成 22 年 6 月 16 日	数理系先生	5
平成 22 年 6 月 17 日	日経新聞社	1
平成 22 年 8 月 10 日	オープンキャンパス	692
平成 22 年 8 月 10 日	ヨロンパナウル少年の船	28
平成 22 年 10 月 7 日	全国大学史資料	60
平成 22 年 10 月 28 日	九州ブロック施設担当中堅職員研修会	36
平成 22 年 10 月 30 日	夢科学探検	488
平成 22 年 11 月 12 日	秋の夕暮れコンサート2010	112
平成 22 年 11 月 13 日	やさしい科学セミナー	20
平成 23 年 1 月 8 日	機械学会	50
平成 23 年 1 月 28 日	韓国海洋大学校	34
平成 23 年 3 月 17 日	総合技術研究会:3/17・18	372
平成 23 年 3 月 20 日	熊本産業遺産研究会	12
	合計	1,978

3 おわりに

工学部研究資料館は、年間行事および開放依頼時のみ開館しており、ご見学を希望する方は工学部総務係までご相談いただきたい。また、研究資料館内は定期的な清掃を実施し、重要文化財工作機械については、技術部（機器製作技術系）の技術職員により毎月メンテナンスを行なっている。この歴史ある貴重な建物および工作機械群を学生や一般の多くの方々に実際に動く状態で見学していただき、機械産業の原点を感じていただければ幸いである。

各種連絡先

工学部研究資料館に関すること

建築工学科教授 伊東 龍一 館長 Tel 096-342-3554

工学部研究資料館内工作機械および動態修復に関すること

技術部 機器製作技術系 中村 秀二 Tel 096-342-3779

工学部研究資料館の見学に関すること

〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39-1 工学部 総務係 Tel 096-342-3513



工学部研究資料館 2010/03/31 現在